

主な内容
10月1日は市民の日、秋の全国交通安全運動・・・2
市文化祭を開催など・・・3
情報ページ 子ども医療費助成受給券の対象を拡大など・・・4・5
公民館・コミュニティセンター主催行事など・・・6
急病診療案内、保健だよりなど・・・7
PHOTOセレクション 市総合防災訓練など・・・8

いちはら



1年生の国語の授業では9人の児童全員が発表していた(写真は海上小学校)。

※条件 (1)原則保護者による送迎、(2)1年間以上の就学が可能なこと

一定の条件(※)の下、従来の通学区を越えたまま、特別に市内全域から入学・転入学を認める学校のことです。

問合せ先

Web
☎ (23) 9848 学校教育課

※詳しくは学校教育課まで問い合わせてください。

申請方法 学校教育課と国府・海上小学校にある『小規模学級特認校就学申請書』に必要事項を書き、10月1日から12月3日(月)までに学校教育課へ提出する。

児童を募集

平成25年度に入学・転入学する児童を募集します。定員 1学年20人(在籍児童を含む)

特認校の特色

特認校に指定された国府・海上小学校では、外国語活動や図画工作など、一人一人の発表の場が多い授業や全校で取り組む活動、地域の人の交流を生かした体験活動など小規模学級の特色を生かした教育を実践しています。国府小学校では郷土教育や情報教育、海上小学校では外国語活動や図画工作などに取り組んでいます(下記のとおり)。

少人数でのびのびと

小規模学級特認校の指定と児童の募集

市では、個性を生かしたきめ細かな教育の実施と小規模校の活性化を図るため、国府小学校と海上小学校を、平成25年度より市内全域からの通学を許可する小規模学級特認校に指定しました。両校の来年度の児童を10月1日から募集します。

小規模学級特認校とは

子どもの通う学校は、教育委員会が定めた通学区域により指定されます。

小規模学級特認校(以下『特認校』といいます。)とは、一人一人の個性に応じた教育や体験活動など、小規模学級の良さを生かした教育を受けさせたい、受けたいという保護者・児童に、一定の条件

海上小学校の特色

外国語活動 週1回、朝の自習時：図画工作 表現力を高める活動間に全学年で取り組んでいる。：として図画工作に取り組んで『ハロータイム』を中心として、：から34年目を迎え、学校の伝統と英語に取り組んでいます。：統となっています。

児童数や教育目標など

所在地	神代 125
校長	齋東美枝子
児童数	72人
教目	育標
	『夢を持ち、たくましく生きる子』～文化の華を咲かせよう～



根本夏菜さん(5年1組)

児童会役員の根本さんは「海上小学校は児童数が少ないので、みんなの仲が良いです。とても楽しい所なので、ぜひ来てください。一緒にミニバスケットボールをやりましょう」と話します。



外国人と楽しく会話



近くの水田で行う『そば栽培』

国府小学校の特色

郷土教育 米作りや太巻きずし：情報教育 情報活用能力と情報・わらじ作りなどの体験活動：モラルの育成、情報機器を活用した授業などに取り組んでいます。：ます。

児童数や教育目標など

所在地	村上 1402-1
校長	増山 至
児童数	60人
教目	育標
	『豊かな心を持ち、たくましく生きる人間性の育成』～将来の夢を自分の言葉で語れる子ども～



天野義直さん(村上)

3年生に地域の歴史や風習を伝える同校卒業生の天野さんは「父や近所のお年寄りから聞いた話を伝えています。自分の地域や学校の歴史を知って、子どもたちに自信と誇りを持ってもらいたい」と話します。



郷土料理の太巻きずし作り



パソコンを使った授業

しっかりと育てよう！市原の子ども

子育て4か条

- (1) 挨拶ができ、礼儀正しい子どもに育てよう
- (2) 心から『ありがとう』と言える子どもに育てよう

- (3) ものの善し悪しがわかる子どもに育てよう
- (4) 相手の気持ちができる子どもに育てよう